

第1回 温泉を活用した健康まちづくり事業 運動・スポーツ習慣化促進チーム会議(議事録)

【日 時】 令和5年8月28日(月)19:00~20:00

【場 所】 役場第2会議室

【参加者】 資料のとおり

【内 容】 次のとおり

1 開会 及び 2 座長あいさつ(座長:青木地域振興監兼企画健康課長)

時間になりましたので、始めさせていただきます。

私、企画健康課の青木と申します。4月から健康分野も持ちながら、担当の課長をしております。日程としまして、座長挨拶となっておりますので進めて参ります。

この度は温泉を活用した健康まちづくり事業運動スポーツ習慣化促進チーム会議ということで、皆様に推進チームの委員をお願いしましたところ、快くお引き受けをいただきまして、ありがとうございました。具体的なことについては、まだよくわからないと思っておられる方も多いと思いますが、この後説明をさせていただきますので、お聞きいただきたいと思っております。

町では、温泉を活用した健康まちづくり、いわゆる温泉と町民が健康になる、老化しないとかいろいろなことがございますけれども、そういったことを意識したものを組み立てようということで、令和3年から少しずつ動きを始めてきておるところでございます。三朝温泉は皆さんもよくご存知ですけれども、3日宿泊して3回朝を迎えると元気になるというような名前の由来を持ってこれまでできておりまして、いわゆる療養の目的ですとか、そういった面からもどちらかという観光分野でのPRということに使ってきております。そういったことをやりながら、平成26年には開湯850年、翌年には三徳山との絡みの中で日本遺産、六根清浄と六感治癒ということで、ここでも温泉のことが出て参りますけれども、温泉のキーワードとしてずっと流れておるのがこの健康、癒やしとかの部分でございます。そういったこともありまして、今は岡山大学さんがちょっと変わっておりますけれども、三朝温泉の医学的効果ということで、そういった研究を常にどこかでやりながら、それを蓄積しながら、エビデンスの一端もできてきておるというふうに思っております。今回の健康温泉まちづくりでは、この恵み、健康まちづくり、いわゆる町民の健康増進に繋がるということにつなげようということで、そこを起点にしてまちづくりをしていこうということで立ち上げておるものでございます。もちろん三朝温泉、観光でございますけれども、一方で、こうやって町民の方にしっかりと温泉を理解していただくということ、それからそういうことが、これからのまちづくりには非常に大切であるというふうに思っております。観光の方に言わせるとちょっと回り道であるのかなというふうにも見えますが、町の一番の魅力をもって町民がその幸せを感じるということは、これからの新しいまちづくりには非常にポイントになる基本的な部分だというふうに思っておりますので、どうしてもやらなくてはいけない事業だというふうに思っております。後程お話をしますが、文部科学省の中にスポーツ庁というのがございます。ここにあった事業でございますけれども、運動スポーツ習慣化促進事業というものを持参しまして、これをベースにしながら、運動、スポーツをする、それに、三朝温泉に入るということを加えて健康づくりにやろうというのが基本的なフレームだというふうに考えております。今日お集まりいただいた皆さんには、日頃からそれぞれの立場で、運動だとかスポーツ、もしくは高齢者のフレイル予防だとか、いろんな視点で活動をされておりますので、いろんな議論のできる、いろんな動きのできる皆さんだというふうに思っております。ぜひ日頃から考えておられることを、温泉に入るということをキーワードに結びつけながら、次の形といいますか、プランを組み立てていく手助けをしていただけたらというふうに思っております。この後辞令を交付させていただきますけれども、数年にわたるプランの取り組みでございますので、ぜひ仲良くなっていただいて、わいわいやりながらできたらなというふうに思っておりますので、ちょっと長くなりましたが、よろしくをお願いをしたいと思います。挨拶は以上でございます。

3 辞令交付

―座長から出席者に対して辞令交付―

4 自己紹介

青木 座長	資料を1ページめくっていただきますと、委員の名簿をつけておりますが、本日、所用で来ておられない方をご紹介させていただきます。三朝温泉病院の医療技術部長の山根部長、それから旅館協同組合の事務局長の中川さんです。また次回ということで、改めてご紹介をさせていただきます。それでは、進めて参ります。自己紹介は、委員の名簿に沿ってよろしくお願いします。
別所 委員	皆さんこんばんは。今日はお疲れ様です。三朝温泉病院から参りました、理学療法士の別所と申します。主にお話で力になれるところはリハビリの分野だったり、健康づくりの分野だったりに特化してしまうかもしれませんが、何かの力になればと思います。尽力させていただきます。会議は静かに真面目に頑張ろうと思いますので、どうぞよろしくお願いします。
松田 委員	三朝町社会福祉協議会総務課の松田でございます。この前段のワーキンググループ会議の方から、引き続きお世話になります。よろしくお願いいたします。個人的には普段スポーツとか体を動かすということは、ほぼしてないんですけども、社会福祉協議会としましては地域での高齢者の方の計、簡単な運動を推進ですとか、温泉病院さんの方のご協力いただいてのサロンでの健康づくり、また今年度はeスポーツというようなところで、老人クラブの活動、集落サロンなどでもニンテンドースイッチでのそういったスポーツのようなソフトも活用しながら、健康づくり、高齢者の健康づくり推進というところもしております。よろしくお願いいたします。それと宣伝といいますか今年もまた10月1日から赤い羽根共同募金運動行われますので、皆さんもぜひご協力の方お願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
相生 委員	私、三朝温泉観光協会の相生といいます。よろしくお願いします。私も以前スポーツの方やっております、スポーツセンターに今は勤務しております。そちらの方で、去年からバランスボールを使った健康づくり教室っていうようなことでやらせていただいております。以前から温泉を使って、スポーツっていうことをちょっと私も気にはかけておりましたところ、こういう話が出てきたということで、何らかの形で協力をしていきたいというふうに思いますので、今後ともよろしくお願いします。
新藤 委員	皆さんこんばんは。三朝町商工会青年部副部長の新藤俊樹と申します。私の事業所、株式会社新藤なんですけれども、2014年ごろから、三朝温泉濃縮温泉水という入浴剤を製造する事業にも着手し始めて、最近では三朝温泉化粧水を発売したところであります。スポーツにおいても昔から空手と野球をしながら、スポーツもやってきておりました。現在では、町内のナイターリーグで野球をさせていただいております。今後ともよろしくお願いいたします。
山内 委員	皆さんこんばんは。NPOみささ温泉という団体から出席させていただいております。山内といいます。よろしくお願いします。NPOみささ温泉は三朝温泉街にある駐車場の管理運営と、すーは一温泉という熱気浴施設がありまして、その管理運営をしております。私は常任理事ということで役をしながら、運営に関わっております。コロナ禍に入ってからちょっと自分が太ったもので、そこから毎朝運動し始めて、今はずっと毎朝8キロのランニングをしています。もともと、数年前からは、観光協会の青年部と旅館組合の青年部で何かこう、温泉と健康増進を結びつけた取り組みができないかということで、ノルディックウォークのインストラクターの資格を取得して、そういうお客様、観光客のお客様とか地元のお客様の方とかと一緒に歩いたりっていうこともしております。なので歩くのも走るのも結構好きです。三朝は山とか、川とか近いんで、自然の中を楽しめるので。今回はどういうお話ができるかわかりませんが、よろしくお願いいたします。
深田 委員	三徳地域協議会の事務局をしております深田といいます。なぜ私がここにいるのかちょっとよくわからない状況で来てしまったんですが、出席したからには、皆さんと一緒に、

	皆さんの話を真剣に聞いて、一緒に考えていきたいと思います。よろしくお願いします。
森 委員	こんばんは。三朝町スポーツ推進委員の森と申します。スポーツ推進員からは、私と米田さんの2人でいきます。スポーツ推進員っていうのは、社会教育の中にありまして、山下勇会長以下12名。各地域の推薦と学識経験者ということで、それで昨年からですね12人ちょうどおりますので、3つのチームに分かれまして4人ずつですね、健康増進チーム、スポーツ推進チームと、広報チームですね。私と米田さんは、健康増進というところで皆様の温泉まちづくりですね。微力かもしれませんが、一生懸命したいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。
米田 委員	失礼します。同じくスポーツ推進委員の米田と申します。委員歴が35年になります。それで今までいろいろ長い期間いろいろやってきたんですけど、今年度からちょっとスポーツ推進員も方向が変わって、町民の健康増進のために、どうしたらいいかっていうことを、これまでも真剣だったんですけど、より真剣に考えている最中です。そういうことで今回この温泉を活用したまちづくり、健康まちづくりというテーマでこの会議が開かれるというふうに聞きまして、ぜひ長年の経験も生かして、協力できたらなと思っております。よろしくお願いします。
藤井 課長	改めまして、皆さんお疲れ様です。観光交流課の藤井です。温泉を活用した健康まちづくり事業ということで、運動やスポーツの習慣化する取り組みですが、自分自身が参加して体験してみて楽しい、続けたいという思いがないことには続かないものだと思っておりますので、そういうことも考えながら一緒になって取り組んでいきたいということで、よろしくお願いします。
矢吹 課長	福祉課の矢吹といいます。福祉の課になりますけれども、フレイル予防ですとか、いつまでも元気でいたいなっていうところで、この会議に名前を入れていただいて、よかったなと思っています。個人的には温泉はちっちゃい時から親しんでますが、運動とスポーツにはちょっと遠ざかっていますので、私みたいな人間がどうやったら運動スポーツを習慣化していくのかなっていうところになるのかなというふうに思っ、ちょっと楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします。
角田 課長	皆さんこんばんは。社会教育課の角田と申します。このチーム会議の中では、社会教育の分野で、生涯スポーツの推進というところが大きく関わってくるところかなと思います。あわせて個人的には、やはりこういう会議の中でどういったまちづくりをしていくか、夢を持って話ができればかなと思います。私的には、このチーム会議の中で、温泉施設を作るにあたっても、オリンピックが呼べる施設ですとか、オリンピックが育つような健康まちづくりに、の夢もちょっと描いてみたいかなと思いますので、皆さんと一緒に活発な論議をしたいと思います。
青木 座長	最後、青木でございます。先ほどちょっとしゃべりましたが、企画健康課の課長をしております。名簿には地域振興監という名前もいただいております。もともとは現場系の職員というか、農林とか、観光を幅広く担当しながら、企画健康ということで今回のプロジェクトを進めていこうとしておるところでございます。座長となっておりますけれども、進行役というふうに思っただけたらと思っておりますし、今日は所用でこの場にきておりませんが、保健師も配置をいただいております。現場の方のおつき合いも一方でありますので、我々と同じスタッフの中で、動いていきたいというふうに思っております。自己紹介は以上にさせていただきます、進めて参ります。

5 概要説明

青木 座長	それではここから私の方で進行させていただきます。日程に従いまして、進めさせていただきます。5番の概要説明というところがございます。最初に事務局の方から説明をお願いします。
事務局	失礼いたします企画健康課の岩本と申します。この事業をメインで担当させていただこうと思っておりますので、皆さんどうぞよろしくお願いいたします。私の方からは資料の2から4について、連続ではございますが、それぞれ説明をさせていただきます。

資料2をご覧ください。こちらが、これまでの温泉を活用した健康まちづくり事業の概要、経過を簡単ではありますが、まとめたものでございます。この事業については、先に座長である青木地域振興監のあいさつでも触れられましたが、三朝温泉は古くから健康に縁の深い資源でございます。その温泉を町民の健康づくり、健康増進のために活用していこうということではじまったものでございます。

当時、整理したものとして、右上に〇がいくつもしてある絵を書いておりますが、三朝温泉、健康づくりにおいて、既にあるもの、あるいは不足しているであろうということを表したものです。

これらを整理していく過程において、事業の全体目標を、三朝町で健康で自分らしく暮らしていく、そのために温泉をはじめとする資源を最大限活用してまいりましょうということで、進めてきたところでございます。これまでの経過でございますが、2取組状況です。令和3年度は、先進地視察ということで厚生労働大臣認定制度、温泉利用型健康増進施設の取り組みをしておりました大分県竹田市、北海道豊富町に行っていました。そして、その視察や情報収集も並行していきながら、令和4年度は、進めていこうとしておりましたこの事業の大きな方針を定める必要があるということで、基本構想策定に向けて着手したところでございます。

具体的にはワーキンググループを設置し、議論を進めてまいりました。それぞれ開催日を記載しておりますが、のべ4回ほど開催し、基本構想原案の作成をすすめてきたところです。その後、この春からは検討委員会を立ち上げ、まずは基本構想を策定。そして、現在は構想をもう一步具体的なものをイメージしておりますが、基本計画の作成を進めようとしていくところです。こういった全体の動きと並行し、皆さんにお集まりいただいているのが、このたびの運動・スポーツ習慣化促進チーム会議でございます。

資料は3を見ながら聞いていただければと思います。これは、先に説明をしました基本構想において示した温泉と健康づくりを連携させる という柱を具体化してみようということで発足しております。当時のワーキンググループ会議であったり検討委員会等においても、運動をする、その後に入浴するというような流れについてそれぞれご意見もいただいております。こういった流れを試行錯誤しながらでも着実に進めていきたいと思いい、国の補助金でございますが、スポーツ庁の運動・スポーツ習慣化促進事業に応募し、この8月には正式に補助金の交付決定がなされたところです。詳細は、後ほど担当から説明をします。

続いて、資料4でございます。これは、会議の要綱です。つまり、何をするためのものか、ということを示したものです。なかほどに記載しております、会議のねらい、役割ということで、まずは、一体感の醸成としております。これは、みんなで進めていきたいと思いますということでございます。

この温泉を活用した健康まちづくり事業というものですが、役場だけで進めるものではありませんし、観光分野だけ、医療や福祉だけ、あるいはスポーツ振興だけ、ということだけでなく、やはり皆さんと関わりのなかで進めていくもの、作りあげていくべきものでありますので、まずは皆さんと一緒に進めていくということでございます。

ついで、所属組織との情報共有ですが、この会議での議論については、正式に議事録を作成し、皆さんには配布をさせていただきますが、所属する組織、団体にあってもこういった議論をしているということで共有をはかっていたいただければありがたいです。

そして、事業PRでございますが。これはそれぞれの団体において、関係する方たちに対し、取組のPRをお願いすることになるかと考えております。具体的にはこの秋に実施する取組については、運動やスポーツを実施してもらう人を集める必要があります。もちろん我々が主となり、参加者を募っていくわけですが、それぞれの団体にあっても協力をお願いしたいと考えております。

事業への意見提供、次年度のアイデア出しについては、実際の取り組みについての議論をしていきたいという趣旨です。今年度については、事務局と関係する団体様とのなかで2つほどつくりあげましたが、これについて、より質の高いものに昇華させていくため、あるいは次年度の取り組みについても、こんなことをしてはどうか、だとか、やってみよう というようなお声を聞かせてほしいなと考えております。なお、今年度の取り組みを

	ベースとし、スポーツ庁の補助事業については次年度以降、これ3年間まで活用ができる補助事業となっておりますので、その間は皆さんと議論しながら、構想で示しております温泉と健康づくりを連携させる 取組をつくりあげていきたいと思っております。そういった関係もあり、皆さんの委員の任期については今年度含めて3年度で設定しております。簡単ではありますが、以上です。
青木 座長	事業立ち上げから、今回の会議の設置。それからちょっと具体がないので皆さんの役割というのが、次の説明になるかなとは思いますが、これまでのことを説明させていただきました。ここまですでにちょっと質問とかってというのがあれば、聞いてみたいと思っております。今日聞かれた話ですので、なかなかかなというふうには思いますが、ありませんでしょうか。
松田 委員	このスポーツ庁の補助金というのは、いつから活用しているのですか。今年度からですか。
事務局	その通りです。この補助事業は今年度の令和5年度に初めて使わせていただくということになるんですが、今年度と6年度と7年度を想定しています。ただし、6年度と7年度については、スポーツ庁も、まだうちが手を上げるかどうかも含め、何もわかってないんですが、一応気持ちとしてはこういった取り組みを続けていきたいと考えていますし、その後も、自走に向ける、補助事業に頼らないことが理想でありますので、こういった補助事業があるうちに、いろいろトライアンドエラーを繰り返して、形を作っていければいいかなと思います。なので、今年度からこれは補助事業の中で動いているものとなります。
青木 座長	では後でも結構ですのでまた気がつかれたことがあったら、おっしゃっていただきたいと思いますが、続いて、資料5と6についてご説明をさせていただきます。
事務局	皆さんこんばんは。私企画健康課の米田と申します。この温泉健康事業の岩本係長とともに、私は特にこの運動スポーツ習慣化促進事業の実施という部分を担当させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。説明の方、着座にて失礼します。 それではお手元には右上に資料5と書かれた資料をご準備ください。こちらではですね、まずスポーツ庁に提出した資料を基に、運動スポーツ習慣化促進事業の取り組みについて、ご説明させていただきます。こちらが、あくまでも現時点での計画予定ということをやっております、今後、開催時期等については若干ずれが生じる場合もありますので、ご承知おきください。令和5年度に実施する取り組みは二つ考えております。まず一つ目が、下にP1と表示されている温泉フィットネスになります。取り組みのイメージですが、温泉フィットネスということで、運動、それから入浴をセットで定着させるということを目指すものになります。今年度は、開催場所として、三朝温泉溪泉閣さんに、会場の提供をご協力いただきます。ヨガやストレッチ等の簡単な運動を行いながら、その後入浴し、入浴後は、血圧や体重のチェックを行うというのが一連の流れになります。資料めくっていただいて、P3と表示されてるページ見ていただきますと、対象者の特徴ということで、ご参加いただく方の想定は、一つ目、子育て世代。二つ目働き世代。三つ目高齢者世代のカテゴリーに分け、こちら各カテゴリーで各4回の温泉フィットネスを実施する予定にしています。各カテゴリーとも募集人数は20名程度としておりますので、募集については、委員皆様にはまたご協力をいただきたいと思いますと思っております。また、あわせてオンラインフィットネスということも考えておまして、こちらは温泉フィットネス4回開催する中で、4回ではちょっと定着がその運動と入浴というセットの定着が難しいことも考えられますので、この温泉フィットネスの想定では2ヶ月間ぐらいの間で行う予定なんですけれども、期間中と期間後というところで、補完的な形で、オンラインフィットネスというものも実施したいと考えております。続きましてP5ページの方ですね。二つ目の温泉運動浴でございます。こちらは三朝温泉病院さんにご協力をいただき、病院内に設置してある温泉プールをお借りし、運動浴を行うものです。対象者は、過去にけがをした方などで、足、腰に不安があり、体を動かすことに興味はあるけれども、通常のウォーキング等の運動がちょっと心配かなというような方を想定しています。こちらは温泉病院さんの理学療法士さんによる指導を想定しております。1回当たり1時間程度、計8回を計画しております。

	す。 次に資料6になります。こちら今後のスケジュール、流れについてになります。今日お集まりいただいているように、こちらのチーム会議、今年度は会議形式の場を4回設けようと考えております。まず第1回の会議が今回になります。委員さんの顔合わせ事業の概要についてお示しをさせていただきました。次回の第2回は9月下旬頃に、こちら運動スポーツ習慣化促進事業の詳細、今ご説明したものの確定をお示しさせていただく予定にしております。その後事業が始まりまして、11月頃に途中経過の報告ということで、第3回会議を設定したいと考えております。そして事業が完了する3月頃には、事業を展開していった結果報告と、次年度の事業の検討ということで、第4回会議を考えております。簡単ではありますが、以上私からの説明とさせていただきます。
青木座長	2つの取り組み、これは初年度ということですので、いわゆるたたきになるものを準備したところだと思っております。先ほど今後のスケジュールの中で9月下旬に第2回目のチーム会議を招集させていただこうとしておりますが、この時に今日のペーパーの中でもって説明されたことを皆さんがイメージをしていただいて、詳細が詰まって紹介をした時にご意見をいただきたいというふうに思っているのが流れだというふうに思っております。これを3年間という中で組み立てながら、いわゆる温泉病院さんとか、場合によってはスポーツセンターさんとかいろんなところを巻き込みながら、いわゆる、最終的に続いていけるようなプランになったらいいなということを繰り返し検討していくというのが、大きな流れかなというふうには思っております。資料5と6について、まだまだ導入の段階ですのでさわり程度になっておりますが、今の段階で何かご意見なりご質問なりがあれば伺いたいと思っておりますがいかがでしょうか。
松田委員	昨年度に行われたワーキンググループ会議でも発言をしましたが、どうしても行きたいけど行くことができない方、温泉に入りたいけど移動ができない、困難な方がいらっしゃると思います。特に、高齢の方で車が運転できないとか、移動が難しい人があると思いますが、そういった方への対応はどうするのか、考えがありますか。
事務局	移動が困難な方に対する対応は現時点では考えてはいないところです。あくまで今回のプログラムについては、設定した会場に来ていただいて、そこで体験していただける方が対象になるかなと整理させていただいております。

6 その他

青木座長	そのほかどうでしょうか。今日の話でございますので、少し時間を持ちながら考えていただいた方がいいのかなと思っております。なければ、その他で事務局で何か準備してるものがあれば。（事務局からはなし） 皆さんの方で何か最初からの流れの中でもう結構ですし、いただけるものがあればと思っておりますがどうでしょう。
藤井課長	もう一度になってしまうかもしれませんが、この会議の来年度からの動き、3年間を通じた動きみたいなものを示してもらった方がイメージがわくのではないかと思いますので、説明をお願いできますか。
事務局	来年度以降についての会議内容ということで、一応今年度と同じような流れかなと思っております。今年度については我々企画健康課の事務局の方がこの二つのプログラム、せっかくだからやってみましょうかということでやってみて、それを皆さんに集まっていたいて、ご意見をいただいて、それを次年度なりでは踏まえながら、また我々事務局からも案を示させていただこうかなとは思っておりますけども、もっとこうやるべきだ、とかですね、例えば新たな取り組みだとかについても、展開が可能なものでございます。のスポーツ庁の補助金が200万から1000万円と幅がありまして、今年度については200万で下限を下回らないところで作り上げていますが、もっと使おうと思ったら使える事業でございます。このため、皆さんの方から、こういうものを所属する団体の方でしてみたい、習慣化につながる取り組みを進めたいことが出てくれば、もちろん町の方が旗を振らしていただきながらになります。事業を実施するというようなことも可能かなと思っております。それで、実際に実施していくにあたって、やっぱり皆さんからまた意見をもらっ

	て、それについてまたチューニングして、こういうふうな事業実施をして、また途中経過をお話し、次年度においても振り返りのなかで、次回はこういった動きをしましょうかというのを、こういった場で議論していったら、最後に補助事業は実際はなくなってしまうわけですので、自走して続けていくには、例えばこれぐらいお金を徴収したらいいんじゃないとか、そういう経営的な目線になるかもしれませんが、幅広いところで議論ができればと思います。 この事業は、何が正解で何が不正解かってなかなか見つかりにくいところでございます。やっぱり事業の柱として温泉を連携させるっていうところはブレてはならないところではあるんですけども、温泉っていうのを入浴するだけではなく、例えばラドンの効果ってのが、温泉街にはあるというようなことがワーキンググループだとかいろんな会議で話がありましたので、例えば温泉街でウォーキングをするってことも、温泉と健康づくりを連携させるのに関連づけることも可能だと思いますので、幅広い視点の中で、この取り組みを進めていきたいなというふうに考えています。
青木座長	言葉にはありませんが積極的に事業提案なるものを考えていただければ、それが次に繋がっていくというふうに思っておりますし、自らの所属しておられる団体で構想を考えていただくと、例えばこの場がそれを揉む機会にもなるのか、作り上げる機会にもなるというふうに考えております。ぜひそういう意味で活性化に繋がるような取り組みを普段から考えておられることをブラッシュアップするというようなイメージで考えていただくと考えやすいかなと思います。て先ほど藤井課長が意見を言いましたけれども、我々も結局は皆さんと同じ立場という感じで、役場と皆さんという関係はもちろんありますけれどもどっちかっていうとそれぞれ専門分野を持った感覚というので参加ができるというふうに思っておりますので、ぜひ一緒に作り上げるという感覚で思っていただければというふうに思います。その他、ございますでしょうか。よろしいですか。
米田委員	確認ですが、この取り組みはいつするのでしょうか？
事務局	2つのプログラムをいつ実施するのか、という質問ですが、これはこの秋、さっそくですが10月～翌年2月頃になろうかなと思いますが、その期間中に実施していきます。そこでの結果を踏まえ、また皆さんからご意見を頂戴するなかで、次年度の取り組み、次年度についても恐らくは夏以降の動きになると思いますが、進めていこうと思っております。
青木座長	そのほかどうでしょうか。よろしいですか。それではですね、1年目ということもございますので、次回の9月の中下旬になろうかと思いますが、1回事務局の提案をチェックをしてもらうというような感覚で、今年はとりあえずやってみるという感覚があらうかなと思いますので、それをやってみたいというふうに思いますので、よろしくお願いをいたします。それではですね今日の日程は以上ということになります。 最後にちょっと私の方から一つだけご紹介をさせていただきます。基本構想をお配りしておりますが、これの最後のページ、ここにこれまでいろいろな会議で出てきたものを、わかりにくいかもしれませんがまとめております。いわゆる三朝温泉を横軸で医療、介護予防、それから健康づくり、休憩、娯楽という切り口、それから町民と観光、いわゆる障害者という切り口でどうを使っているかとかどういうメリットがあるかとか、どうしたらいいんだとかということを意見をいただいたものを、ここに場所をとりまして、どこに値するのかなというのをまとめた表でございまして、今回がこの健康づくりで、健康づくり、もしくは介護予防の辺りで、町民ということを目論んでいるという位置がよくわかるような表を作ったつもりでございます。温泉の可能性はですね、言う人に言わせれば無限大だよと言われるようなこともございまして。いわゆる観光の分野でいくとまだまだ全然いろんなことがここに書いてありますので、切り口でいけば、どんなことでも活性化に繋がる事業ができるということを言いたいがための資料としておりますので、またそういう視点で見ていただければ、観光分野の方には観光分野なりの、それから町民、それからいろんな方に対応できるこれを充実させていくことが、健康まちづくりのプランにしても、観光振興の温泉振興についてもやっていけるのかなというふうに思っております。皆さ

	んから出た意見を大事にしていきたい表かなというふうに思っておりますのでまたご覧いただければと思います。
藤井 課長	案内です。9月16日土曜日に岡山大学のラドン温泉研究されている先生、一昨年前にアンケート調査をお願いしたようなことがあったと思います。温泉入られますか、というような。そういったアンケート調査の結果、それからラドンの効果研究というような発表を9月16日の土曜日、町文化ホールの大会議室、もしくは商工センターでオンラインでしますので、ご興味があればということでご案内します。以上です。

7 閉会

青木 座長	それでは1時間経ちましたので、大変お疲れのところ、一方的な説明に終始した感がありますが、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げますということで、今日の会を閉めさせていただきます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。今日はどうもありがとうございました。
----------	---